

職業講話（静浦小中一貫学校）

と き	令和2年12月9日（金）10:25～11:10
と ころ	沼津市立静浦小中一貫学校 教室
対 象	3年生（24人）
内 容	わたしたちの安全な暮らしを守るために、まちでは、どこでどのような人たちが働いているかを学習し、女性消防士や女性警察官の方々の講話を聞くことで、仕事内容の理解・男女共同参画意識の醸成につなげることをねらいとして、男女共同参画推進事業所による職業講話を行いました。



【沼津警察署の方】

警察には交番や駐在所で働く人、テレビでみるような刑事さん、交通事故を取り扱ったり、交通取締りをしている人など、様々な種類の仕事をしている人がいます。こうやって皆さんの前で警察について知ってもらうためにお話するのも警察官の大切な仕事です。悪いことをしたり、しようとする人たちは、警察官を見ると逃げ出すことが多いです。私たち警察官が制服を着て、見守りや警戒活動をすることで、事故や犯罪が起きないようにすることが出来ると考えています。警察官といえば、男の人だと思うかもしれませんが、最近では女の子が事件に巻き込まれる事件などが多くなっていて、女性の警察官が話を聞く事で、安心して話をしてもらえようとする工夫をしています。



【沼津北消防署の方】

私は救急救命士の資格を持ち、救急隊として活動する消防士です。怪我した人や病気の人を救急車で迎えに行き、病院へ連れていく仕事をしています。駿東伊豆消防本部は617人中女性が15人しかいません。（生徒の「えー！」「嫌だー！」の声）女性が少ないんです。もっと昔は男の人だけしかいませんでした。けれど、少しずつ女の子が増えてきています。市町に住む半分の人は女性です。救急車で運んだ人達に「女の子がいて助かった。」と言われることもあります。私は身体を動かす仕事がしたいので、この仕事に就きました。「仕事」って、「自分にできることで、人の役に立つことをする。」ということだと思います。みんなもどんなことでも嫌がらず、やってみることが大切だと思います。

子どもたちの感想

【警察官への感想】

- おまわりさんは私服だったりスーツだったり、いろいろなおまわりさんがいるんですね。
- 警察の仕事がいろいろわかりました。わたしも警察官になりたくなりました。
- 警察のことをいろいろ教えてくださいありがとうございます。警察官ってなんだか、かっこよくて、つよそうで、地域を守る人で、すごいです。あこがれの人です！これからもがんばってください！

【消防士への感想】

- （火は怖くないのですか？→怖いけど、私たちが消さないといけないうんです。の質問のやりとりから）火は怖いのに救助をできてすごいですね。わたしだったら足がガタガタしてうごけません。勇気があるんですね。わたしも勇気があってみんなを救える人になりたいです。
- びっくりしたことが2つあります。全員で大体617人いるのに、女の子が15人しかいないことです。本当にびっくりしました。あとは、20キロの服を女の子も着て歩くことです。大変だけどがんばってください。